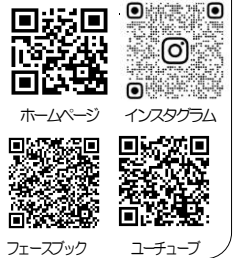


ふれあいひろば

口和自治振興区

〒728-0502
 広島県庄原市口和町向泉934-4
 庄原市口和自治振興センター
 電話 0824-87-2213
 F A X 0824-87-2135
 メール kuchiwajichi@gmail.com
 設立 2010年



【口和クイズ】

昭和38年頃におこった自然大災害の名前は？
 (答えは6面へ)



【今回のメニュー】

- ◆金田 フラワーアレンジメント
- ◆大月 門松づくり
- ◆常定 しめ縄づくり
- ◆永田 クリスマス会
- ◆口和小学校6年生 発表会
- ◆創年大学講座 第3回
- ◆草木染め体験教室
- ◆第43回 芸能祭
- ◆2021口和走ろう会
- ◆本の修理講座
- ◆世代間交流事業
- ◆環境と健康のポスター展
- ◆地域で元気を育てる会
- ◆奥出雲視察研修
- ◆地域マネージャー通信
- ◆12月の主な行事
- ◆おしらせ
- ◆1月の行事カレンダー
- ◆ゴミ出し方ガイド:カイロ
- ◆クイズの答え

- 本紙では紙面の都合上『新型コロナウイルス感染症』を『コロナ』と表記しています。
- 掲載した行事は全てコロナ対策に配慮して実施しています。

口和地域データ
 令和3年11月末日

|人口| 1,857人 (-54)
 |世帯数| 765世帯 (-25)
 増減: 前年同月比
 資料: 庄原市ホームページ

コロナに負けん！地域活動が再開♪

昨今はコロナ禍で中止や延期となった事業がたくさんありましたが、開催日を分散したり野外での活動等、様々な感染症対策を取り入れたニューノーマルな地域活動が始まっています。



金田「フラワーアレンジメント」



大月「門松づくり」



常定「しめ縄づくり」



永田「クリスマス会」

口和の未来と夢を語り合う

『町の未来を考えよう発表会』12/1(水)

国語の授業「町の未来をえがこう」で、人口減少や過疎化など地域の課題と自然豊かな口和の特性を調べ、課題を解決するためのアイデアを出し合った口和小学校6年生が、それぞれのテーマに沿って考えた目指



すまちの姿についてグループごとに発表し口和自治振興区のスタッフと意見交換をしました。

【小学生からの提案】

- ①人とふれあうクイズラリー
- ②ものづくりを通して人と交流ができるカフェ
- ③口和に自生する植物を見学できる町ごと植物園
- ④植物園でワークショップ
- ⑤ご当地キャラ
- ⑥空き家をリフォームした宿泊施設
- ⑦家庭で作った野菜や果物の販売
- ⑧口和の木材を使った施設
- ⑨自然体験ツアー
- ⑩外来種を減らすための看板
- ⑪ごみのポイ捨てを減らすためにアンケート式ごみ箱を人が集まる場所に設置

学びで輝く☆シニアライフ

『創年大学講座 第3回』12/10(金)

今年度の最終回は、びんご大道芸研究会(福山市)による「お楽しみ講演会」を行いました。ひもで石を縛った杖を絶妙のバランスで自立させる石立ての術、竹割り、腹話術、マジック等多彩な芸を堪能した後は、口和支所の藤山保健師にワクチン接種3回目の意向調査について説明していただきました。



はっちゃん



常さん

口和の自然素材で染める

『草木染め体験教室』12/4(土)

上田千絵さん(湯木・山系おりもの工房)に指導していただきインドアカネと口和産ウコンで染めた手ぬぐいとハンカチをつくりました。ショウガ科のウコンは防虫効果が高く、古くから掛け軸や巻物の包み布として正倉院でも使用されていたそうです。

インドアカネで染めた彩かな赤と、ウコンで染めた爽やかな黄色は、自然の素材を使っているの目にも優しい色に仕上がりました。『口和に生えとる植物を使って染めたんも良かったね。』『春はヨモギ、夏は藍を育てて染めてみようや。』と次回への構想で盛り上がりました。



①鍋でウコンを煮る



②布をウコンを煮た鍋につける



③乾かす

伝統と革新が出会い育む口和の文化

『第43回 芸能祭』11/28(日)

今年は、例年に比べ出演団体が少なく午後だけの開催となりましたが、ステージでは小学生から幅広い年代の方が踊りや演奏を披露しました。

同会場では、昨年撮影した動画芸能祭の放映やビンゴゲームに加え、初の試みとしてステージ発表のライブ配信と神楽面の制作体験を行い伝統の文化行事に新たな息吹が吹き込まれました。



【出演種目】大正琴、よさこいソーラン、日本舞踊、フラダンス、フラメンコ

熱走で寒風を吹き飛ばす!

『2021口和走ろう会』11/23(火・祝)

口和総合運動公園を62名のランナーが駆け抜けました。



【大会結果】小学生低学年男子①本山拓弥②細田悠吏③福原可惟④五島凜太郎⑤福原玄琉⑥積山泰介／小学生高学年男子①松永纏②福本悠杜③福本知磨④本山琉弥⑤居原暁汰⑥井上泰希／小学生高学年女子①日野光咲②松永埜③八谷紫乃④幹戸葵⑤前田結愛⑥瀬野響／町内男子①田端蒼司②福原正隆③川上秀和④積山隼斗⑤小滝大翔⑥石田真聖⑦井上流希⑧小滝元翔／町内女子①森永葉月②日野唯花③藤岡月心④西本雪希⑤鳴戸麗愛⑥森永彩水⑦古吉かや⑧本山紗希／町外男子①平田圭②森永博明③木津田智

思い出の本を大切に・・・

『本の修理講座』11/21(日)

「口和本の会」に協力をいただき、保護フィルムや修復テープを使って傷んでしまった本の修理を行いました。この講座は休日開放図書館と同時開催を予定しているので興味のある方は、直したい本を持って口和図書館へお越しください。



【休日開放図書館】

●日時●

原則第3日曜日の午前
(9:00~12:00)

●会場●

口和図書館

(口和自治振興センター)

永田田楽を次世代へつなぐ

『世代間交流事業』11月

永田芸能保存会のメンバーが口和小学校6年生へ永田田楽の指導をしました。演技だけでなく道具の扱い方や衣装の着付けも習った児童たちは学習発表会(11/20)で練習の成果を披露しました。



環境と健康を守り続けるために

『環境と健康ポスター入賞作品展示』

12/6(月)~28日(火)

広島県で開催された環境と健康ポスターコンクールで入賞された口和地域7名の作品を口和自治振興センターロビーで展示しています。



楽しく集う、通いの場

『地域で元気を育てる会』12/7(火)

サロンやデイホーム等地域の集いの場を世話されている方々を対象にレクリエーションやコロナ対策を学ぶ研修会が催されました。

健康で過ごすためには
楽しく社会とつながることが大切です



- ①「集まり場での新型コロナウイルス感染症対策」
三浦聖士様(庄原市役所高齢者福祉課)
- ②「健康寿命を延ばすには?のおはなし」
加藤貴史様(口和福祉会ハートウイング理学療法士)

特定地域づくり事業協同組合制度を学ぶ

『奥出雲町研修』11/26(金)

令和3年から特定地域づくり事業協同組合制度に取り組む奥出雲町でお話を伺いました。この制度は、人口減少に直面している地域で、農林水産業、商工業等の地域産業の担い手を雇用する事業協同組合に対して令和2年度から総務省が支援するもので、現在、島根県をはじめ全国数か所の市町村が導入されています。

この制度を導入した経緯や利点と欠点についての説明を聞いた後、人口減少や過疎化など同様の課題に取り組む地域同士、これからのまちづくりについて情報交換しました。



地域マネージャー通信欄

川上良美
(福祉事業担当)

今年度、口和では3地域（永田、金田、向泉）がデイホーム事業に取り組んでおられます。永田ふれあい自治会、向泉自治会のデイホームでは、来年の干支である虎の押し絵の壁飾りを作りました。毎年新年を迎える前の事業です。新型コロナウイルスが終息し、来年こそは誰もが活発に活動できる社会になりますように願いながら作成しました。みなさん日頃はあまりされないような手作業ですが、立派に仕上がりました。

『デイホーム事業』

庄原市が自治振興区等の公共団体を中心として、地域内の高齢者を対象に、生活相談や健康チェック・レクリエーション、食事交流等の介護予防に取り組んでいる事業です。地域での福祉力を高め、共助を推進する事業として位置づけ、こうした活動に対する助成や支援をしています。（庄原市公式ホームページより抜粋）



【向泉】壁飾り作り

【永田】空き缶ボーリング

【金田】ボッチャ体験

松本晋太
(定住促進担当)

シリーズ成年後見制度 その1

お家を扱う場合に権利については最も大切なことのひとつです。そのなかで、最近よく耳にするのが「成年後見制度」です。この制度について、数回に渡ってお伝えしていこうと思います。

『成年後見制度』

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方々は、財産の管理やサービスを受けるための契約を結ぶのが難しかったり、契約そのものが自分に不利益かどうか判断ができなかったりする場合があります。このような方々を保護して支援するのが成年後見制度です。

積山道弘
(定住促進担当)

「口北小学校を考える会（口和自治振興区主導の取り組み）第3回」が11月18日開催され参加した、現地を見学し意見交換を行った。廃校についても、空き家問題と同じく、地域にとって大きな問題である。小学校の統合前からも、住民からいろんな意見が上がっているが、住民の案について庄原市としてはそれぞれの項目に対して、ハードルが高いなどの理由でなかなか積極的な取り組んでいるとは思えない。

廃校の実態についてインターネットで検索してみると、文科省の「廃校施設等活用状況実態調査」にて廃校施設の活用状況について、平成30年5月1日現在、平成14年から平成29年度に発生した廃校で施設が現存している6,580校のうち4,905校が公共施設の他さまざまな施設に活用され、1,675校が活用されていない、とある。現在はもっと多くなっているのが実態であろう。

さらに文科省では「廃校活用につて」廃校が決定してから廃校活用までの5ステップ①活用方法②情報発信③提案内容の検討④活用決定⑤財産処分や「廃校活用の国庫補助制度」等について紹介しており廃校活用を力事よく推進している。

庄原市として、国の制度等を活用する案を振興区等と一緒に進め積極的に住民のための施設になるよう力を入れてほしいと感じました。

福田 豊明
(防災事業担当)

現在、各戸へお配りしています防災マップですが、平成30年7月豪雨をきっかけに広島県で実測調査の結果、災害警戒区域が追加となっています。それに伴い口和自治振興では、防災マップを更新すべく準備を進めています。各自治会様には、県のハザードマップ資料をお渡しして、災害警戒区域等の確認をお願いしています。12月3日、早速 竹地「本谷自治会」へお邪魔してお話を伺いました。他の自治会様で、追加された警戒区域等の説明が必要でしたら口和自治振興までご連絡ください。伺わせていただきます。



さて、土砂災害は、土石流、地すべり、がけ崩れの3つのタイプに分類できます。これらの災害は、地震や大雨などによって山地などの傾斜地で発生し、多くの人命や住宅に被害を及ぼします。今月の防災だより（第35号）では、向泉自治会防災部 部長 黒谷 武晴 様(防災士)より、斜面崩壊を事前に把握する点検者の教育資料を頂きました。資料は多ページわたり専門性の高い資料でしたので、頂いた資料のポイントを整理したものを紹介します。貴重な資料の提供、有難うございました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

【12月の主な行事】

1日	口和小「口和町の未来を考えよう」発表会	7日	地域で元気を育てる会	20日	防災だより35号発行
3日	防災マップ説明会(本谷自治会)	8日	配食サービス事業	22日	配食サービス事業
4日	草木染め体験教室	10日	創年大学講座 第3回	22日	配達スタッフ意見交換会
4日	新月マルシェ	11日	土曜本の会	22日	地域マネージャー連絡協議会
6日	くちわ図書館だより52号	11日	そろばん教室	23日	地域マネージャー連絡協議会
6日	三者連絡会議(市、社協、振興区)	19日	休日開放図書館(本の修理講座)	24日	ぬくもり会議
6日	環境と健康ポスター展(～28日)	20日	広報148号 発行	25日	そろばん教室

おしらせ

『健康寿命向上セミナー』

日時 1/12(水) 13:00～15:00
 会場 口和老人福祉センター
 参加費 無料
 講師 矢吹祐次様(介護予防運動指導員)
 持参物 飲み物・タオル
 動きやすい服装でお越し下さい
 締切 1/10(月) 当日参加可能です
 内容 **運動機能向上 フレイル予防**
 『フレイル』
 年をとって身体や心のはたらき、社会的
 なつながりが弱くなった状態
 連絡先 庄原市社会福祉協議会口和地域センター
 電話 0824-89-2320
 口和自治振興区 電話 0824-87-2213

『子育てハンドクリーム講座』

日時 1/19(水) 10:00～12:00
 会場 口和老人福祉センター
 参加費 1,000円程度
 講師 瀬戸照美さん(西城町・助産師)
 内容 **お気に入りの香りを選んで、アロマオイルを使ったハンドクリームを作ります。**
 連絡先 口和子育て支援センター 電話 0824-89-7070
 口和自治振興区 電話 0824-87-2213

『とんど祭り』

●1/9(日) 宮内
 ●1/10(月) 湯木 金田 大月
 ●1/16(日) 常定 向泉 竹地谷
 ●調整中 永田
 ●中止 本谷
 詳細(時間・会場等)は、各自治会へお問い合わせください。

1月の行事カレンダー

- [] 内は、口和地域のゴミ収集日です。
- 日程は諸事情により変更する場合があります

日	月	火	水	木	金	土	
	口和自治振興センターの休館期間 12/29(水)~1/4(火) ●休館中の連絡先● 0824-87-2111						1
2	3	4 [燃えるごみ]	5 [その他紙類]	6 [容器包装プラスチック]	7 [燃えるごみ]	8	
9 [施設開放日]	10 [プラスチック類]	11 [燃えるごみ]	12 配食サービス事業 健康寿命向上セミナー [新聞]	13 [容器包装プラスチック]	14 [燃えるごみ]	15 そろばん教室 土曜本の会	
16 休日開放図書館	17 三者連絡会議 [燃えないごみ]	18 [燃えるごみ]	19 子育てハンドクリーム 講座 [その他紙類]	20 広報149号 防災だより36号 [容器包装プラスチック]	21 [燃えるごみ]	22	
23	24 [ビン・カン 有害]	25 [燃えるごみ]	26 配食サービス事業 [ダンボール]	27 [容器包装プラスチック]	28 [燃えるごみ]	29 そろばん教室	
30 [施設開放日]	31 [ペットボトル・古着]						

ゴミの出し方ミニガイド

『使い捨てカイロ』

庄原市ごみの分け方ガイド（保存版）から抜粋



- 燃えないゴミ（指定袋：赤）
- 外袋は「容器包装プラスチック類（黄）」



【口和クイズ】答え(1面)

さんばち

38豪雪

(昭和38年1月豪雪)

昭和37年（1962年）12月から翌38年2月にかけて全国各地で降り続いた雪は甚大な被害を与えました。38豪雪と呼ばれるこの大災害は口和町内でも記録的な積雪があり（宮内田口3.0m位）、中国山地の過疎化に拍車をかけたともいわれています。



お詫びと訂正

先月号（147号）のモーモー物産館再開について掲載した記事（2ページ）の内容に誤りがありました。お詫び申し上げますとともにつぎのとおり訂正します。

【誤】 販売コーナー 8:00~17:00 → 【正】 直売所 9:00~16:00